

学科 学年	D 2	科目 分類	体育 Physical Education	実技	必修	H18/通年 2履修単 位		学習教育 目標	E	担当	渡辺志保美・村山勝 WATANABE Shihomi MURAYAMA Masaru
概要	生涯にわたるスポーツライフを営んでいく上で、新しい運動を自分で習得したり、集団で運動を楽しむということは重要なファクターとなる。新しい運動を自分で習得していくためには、運動技術をどのように身体化していくのかという問題を解決しなければならず、集団で運動を楽しむためには運動の戦術についての知識を獲得し、それを実践していくということが重要になる。本授業においては、運動技術の身体化という問題を陸上競技を教材として取り上げ、課題技の習得・習熟をしていく中で理解していく。また、バスケットボールの授業を用いて、スポーツにおける戦術を学習していくことにより、集団で運動を楽しむ方法を理解していく。また、運動実施上の安全に関する知識を学習する。										
科目目標 (到達目標)	陸上競技では、学生の能力に応じた課題を選択させ、技術の獲得及び習熟度を向上させる。また、バスケットボールを構成している基本技能の理解と習得、応用技能（パスを利用したコンビネーションプレー）を使ったチーム戦術についての理解と習得を目指す。また、ルールについても理解を深め、審判法についても学んでいく。										
教科書・器材等	テキストは特に使用しない。										
評価の基準と 方法	陸上競技については、実技試験の成績（到達度）を80%、授業への参加率、参加態度、仲間との協力状況を20%として評価する。バスケットボールについては、出席状況と参加態度を30%、基礎技能習得度30%、応用技能習得度30%、ルールの理解度10%とする。両種目における評価得点の平均が60%以上を合格とする。										
関連科目											
授業計画											
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)									
第1回	×	ガイダンス									
第2回		短距離走・	1. 現状把握（記録測定）								
第3回		リレー	2. 基礎技能の練習（スタート）								
第4回			3. 基礎技能の練習（加速）								
第5回			4. 基礎技能の練習（等速）								
第6回			5. 基礎技能の練習（持久）								
第7回			6. 課題の練習								
第8回			7. 記録測定・チーム分け								
第9回			8. 基礎技能の練習								
第10回			9. 課題の練習								
第11回			10. 課題の練習								
第12回			11. 実技試験・記録測定								
第13回		スポーツライフにおける安全の確保	1								
第14回		スポーツライフにおける安全の確保	2								
第15回		スポーツライフにおける安全の確保	3								
第16回		バスケット	1. 授業概要の説明と諸注意、今年度授業の達成目標の説明、基礎技能の確認とグルーピング								
第17回			2. 基礎技能の習得とその応用								
第18回			3. 基礎技能の習得とその応用								
第19回			4. 基礎技能の習得とその応用								
第20回			5. 基礎技能（対人：プレー1対1、3対3）の習得とその応用、ルールの理解								
第21回			6. 基礎技能（対人：プレー1対1、3対3）の習得とその応用、ルールの理解								
第22回			7. 基礎技能（対人：プレー1対1、3対3）の習得とその応用、ルールの理解								
第23回			8. 基礎技能の習得度確認・復習								
第24回			9. 応用技能（パスを利用した攻撃の基本形①ポジションごとのリターンパス：2対2）の習得と応用（5対5）、ルールの理解								
第25回			10. 応用技能（パスを利用した攻撃の基本形②）の習得と応用（5対5）、ルールの理解								
第26回			11. 応用技能（パスを利用した攻撃の基本形③）の習得と応用（5対5）、ルールの理解								
第27回			12. 応用技能（パスを利用したコンビネーションプレー①パス&ラン：3対3）の習得と応用（5対5）、ルールの理解								
第28回			13. 応用技能（パスを利用したコンビネーションプレー②パス&ラン：3対3）の習得と応用（5対5）、ルールの理解								
第29回	×		14. 応用技能（パスを利用したコンビネーションプレー③パス&ラン：3対3）の習得と応用（5対5）、ルールの理解								
第30回	×		15. 応用技能の習得度確認・まとめ								
オフィスアワー	渡辺：放課後 村山：月曜日の授業開始前又は、終了後の空き時間を利用し質問に対応する。										
授業アンケートへの 対応	授業内容の改善をすることにより対応する。										
備考											
更新履歴	060110 新規										